

令和6年度

第9回 はばたけ未来の吉岡彌生賞

受賞作品 概要

掛川市・掛川市教育委員会・東京女子医科大学

目次

■ 小学生の部	1
■ 中学生の部	8
■ 高校生の部	15
■ 事業概要	22
■ 応募状況	23

よしおかやよい
吉岡彌生 明治4（1871）年 - 昭和34（1959）年
静岡県掛川市出身

医師を目指して東京の済生学舎で学び、日本で27番目の女性医師となる。故郷で開業した後、医学の本場ドイツへの留学を夢見て再び上京。上京後はドイツ語を学びながら医師としても活躍していたが、母校の済生学舎が女子学生の受入れを拒否したことを機に、東京女子医科大学の前身である東京女医学校を創立。医学教育の他、さまざまな要職を務め、女性の社会的地位向上に大きく貢献した。



小学生の部

賞	研究作品名	氏名	学校名	学年
最優秀賞	橋の作りと強度の関係についての研究	岡戸 瑛亮	菊川市立堀之内小学校	3年
優秀賞	ダウン症の妹も住みよい社会に	松本 都代	掛川市立土方小学校	2年
優秀賞	運動をしてもはがれない ばんそうこの開発!	山崎 萌香	磐田市立磐田中部小学校	6年
奨励賞	ダンゴムシには 明暗と湿度どちらが大事か	宮崎 結矢	掛川市立西山口小学校	4年
奨励賞	コンポストの研究2	山下 晏寿	浜松市立篠原小学校	4年
奨励賞	カラスの研究4	山下 瑞喜	浜松市立篠原小学校	6年

小学生の部 最優秀賞

研究作品名 [分野]	橋の作りと強度の関係についての研究 [理科]		
氏名 (共同の場合は グループ名)	おかど えいすけ 岡戸 瑛亮		
学校名	菊川市立堀之内小学校	学年	3年
動機・目的	住んでいる菊川市には、自然豊かな川、森、畑がある。それぞれの川には特色ある橋がかかっていて、大きさ、材質、形がすべて違っている。どうしてこんなたくさんの種類の橋があるのか不思議に思い、橋のつくりと強度の関係について調べてみたいと思った。		
結果	強度を高めるには、欄干・材質・橋脚・橋台・橋桁の工夫が必要だとわかった。また、アーチ状や三角形の形が強度を高めることにつながった。くらしや生活の仕方が変わるにつれ、橋のつくり、強度、大きさ、形も変化していくことに気づいた。		
苦労したこと	実験に使う模型を作るところが難しかった。実験で、乾電池のおもりを使ってきちんと調べるところが大変だった。		

小学生の部 優秀賞

研究作品名 [分野]	ダウン症の妹も住みよい社会に [健康・福祉]		
氏名 (共同の場合は グループ名)	まつもと とよ 松本 都代		
学校名	掛川市立土方小学校	学年	2年
動機・目的	私にはダウン症の妹がいる。不自由が多い妹やその友達・家族が快適に楽しく過ごせる地域社会をつくりたいと思い、この研究に取り組んだ。		
結果	たくさんの企画を立て実践した。各回ごとふり返りやアンケート調査をして、次の回に修正・改善を重ねた。参加者本人のやりたいことができる配慮・環境づくりが大切だと分かった。		
苦労したこと	主に3年がかりで継続してきた。続けることや、参加者への呼びかけ、資金の調達、企画の立案に苦労した。		

小学生の部 優秀賞

研究作品名 [分野]	運動をしてもはがれないばんそうこの開発！ [医療・看護]		
氏名 (共同の場合は グループ名)	やまざき もか 山崎 萌香		
学校名	磐田市立磐田中部小学校	学年	6年
動機・目的	弟がサッカーをされていてよくケガをします。そこでばんそうこをはるのですが、すぐとれてしまいます。少しの工夫でとれにくくするばんそうこを作りたいと思いました。		
結果	カタカナの「ヨ」がはがれにくく、たて長にして小さな「ヨ」の切れこみをたくさん入れることで、とってもはがれにくくなる事が分かりました。		
苦労したこと	ア～ンまで2回はかり、平均値を求めた事です。		

小学生の部 奨励賞

研究作品名 〔分野〕	ダンゴムシには明暗と湿度どちらが大事か〔理科〕		
氏名 (共同の場合は グループ名)	みやざき ゆうや ----- 宮崎 結矢		
学校名	掛川市立西山口小学校	学年	4年
動機・目的	2年生のときにダンゴムシを研究したが、その時にはわからなかったことなどを調べたいと思ったから。		
結果	ダンゴムシには、湿度よりも明暗を気にして明るい方をさけることが分かった。		
苦労したこと	うまく実験ができるようなそうちを考えるのに苦労した。		

小学生の部 奨励賞

研究作品名 [分野]	コンポストの研究2 [理科]		
氏名 (共同の場合は グループ名)	やました あんじゅ ----- 山下 晏寿		
学校名	浜松市立篠原小学校	学年	4年
動機・目的	家でコンポストを始めたことをきっかけに、何でゴミが土になるのかふしぎに思った。理想のコンポストを作るために、売っているコンポストせい品のひかく、コンポストでできた土での植物観察、土を分かいる生き物の観察などをした。		
結果	コンポストせい品のひかくでは、それぞれ良い点、悪い点があることが分かった。植物観察では、コンポスターでできた土だけ、ホウセンカの花がさいた。土を分かいる生き物の観察では、それぞれ口やおしりを観察して、生き物によって形がちがうことが分かった。		
苦労したこと	花の種をまいて観察したが、発芽しないものが多く、くん炭を入れたり工夫をしたが、ほとんど花がさかなかったから、ざんねんだった。		

小学生の部 奨励賞

研究作品名 [分野]	カラスの研究 4 [理科]		
氏名 (共同の場合は グループ名)	やました みずき		
	山下 瑞喜		
学校名	浜松市立篠原小学校	学年	6年
動機・目的	<p>数年前に家で巣箱から育ったシジュウカラのヒナが、目の前でカラスに食べられてしまったことをきっかけに研究を始めた。1年を通してペリットを拾い季節ごとにカラスが何を食べているか知りたい。また、カラスがなぜ熱中症にならないのか知りたい。</p>		
結果	<p>季節ごとに食べるものに違いがあることが分かった。カラスに見立てた道具に扇風機を当てて、温度が下がったことから羽をパタパタさせて体温を下げていることが分かった。また、巣の観察から地域や時代によって巣の材料に違いがあることが分かった。</p>		
苦労したこと	<p>生きているカラスの温度を測るために、サーモグラフィーカメラ使ったが、近づくと逃げてしまうので、場所を変えたがカラスを見つけるために暑い中たくさん歩きまわったことが辛かった。</p>		

中学生の部

賞	研究作品名	氏名	学校	学年
最優秀賞	ヌートリアの研究 Part4	山下 颯梧	浜松市立篠原中学校	3年
優秀賞	ヨルシカ楽曲に見る 音と色の関連とその発展	安見 由圭	京都市立西京高等学校 附属中学校	3年
優秀賞	ヒマワリの実験⑨	森下 真緒	掛川市立栄川中学校	3年
奨励賞	豆苗の再生栽培時における AsA の維持	坂本 旬	岡山県立倉敷天城中学校	3年
奨励賞	ポリフェノールを多く含む食品は 乳酸菌を増殖させないのか	山本 芽生子	岡山県立倉敷天城中学校	3年
奨励賞	鹿北の森を科学的に探ろう！Part3 ～里山・人と自然の共生を探る～	鹿北の森 探索グループ	山鹿市立鹿北中学校	3年

中学生の部 最優秀賞

研究作品名 [分野]	ヌートリアの研究 Part4 [理科]		
氏名 (共同の場合は グループ名)	やました そうご		
	山下 颯悟		
学校名	浜松市立篠原中学校	学年	3年
動機・目的	<p>小学生5年の時に、道路で死んでいたヌートリアを発見したことにより、どんな生活をしているのか興味を持ち研究を始めた。研究を進める中で特定外来種ではあるが人間に利用されただけの尊い命であることに気付いた。大切な命を無駄にしないためには、ヌートリアの生態を解明することが重要である。今年はヌートリアの鳴き声から音響生態を解明したい。</p>		
結果	<p>収集した5種類の鳴き声は断続的、継続的、単発的、縄張り争いの威嚇、コミュニケーションの鳴き声に分類されることが分かった。また、ヌートリアの鳴き声は気持ちから派生したものではなく、個体同士が接している時に使っていることや、恐怖や不安といった意思表示に役立っていることが分かった。</p>		
苦労したこと	<p>本研究は、ヌートリアの音響生態を解明するために行ったが、そもそもヌートリアを見つけることが難しく、大変だった。また、ぬいぐるみ等を用いた調査中に研究していた個体群が罾によって捕獲されてしまい、自然界の生物を対象とした研究の難しさを感じた。</p>		

研究作品名 [分野]	ヨルシカ楽曲に見る音と色の関連とその発展 [理科]		
氏名 (共同の場合は グループ名)	やすみ ゆか ----- 安見 由圭		
学校名	京都市立西京高等学校附属中学校	学年	3年
動機・目的	<p>昨年、普遍的な単語や人物、宗教への色のイメージを調査したのだが、あまり満足のいく研究にできなかったため、今年は、自分の興味のある分野である音楽と色の関連性を調べ、最終的には音楽からMVの予測を立てたいと思ったから。</p>		
結果	<p>音と色には関連性があったが、すべてが共通というわけではなく、人によって感じ方も違うため、MVの予測は細かいところまではできなかった。それでも、ある程度は作者の意図を理解できたため、人を同じように、また、自分なりに感じるために、目や耳は大事にすべきである。</p>		
苦労したこと	<p>アンケートで音と色のイメージを調査したのだが、思ったより集まらず、一般的なデータにするのが難しかった。また、まとめ方に私の主観が入ってしまうことがあったのも大変だった。どう表せば見やすくなるのかも前例がないので何度も考えた。</p>		

中学生の部 優秀賞

研究作品名 [分野]	ヒマワリの実験⑨ [理科]		
氏名 (共同の場合は グループ名)	もりした まお 森下 真緒		
学校名	掛川市立栄川中学校	学年	3年
動機・目的	ヒマワリの実験を続け、9年目になる。9年間で41の実験を行った。ヒマワリに条件を加え、その影響によって、どのように生長するか観察している。本研究は、3年前から失敗を重ねている実験を異なる面から考えて、新たな仮説を立てて実験を行った。		
結果	茎を①繋げる②切り離すという順で行われる「接木」を行った。ヒマワリと同じキク科の3つの植物をヒマワリと接木したが、どれも失敗に終わった。しかし、ヒマワリ同士の接木は成功し、花が咲いた。2つの株のヒマワリがつながり、開花するところを確認できた。		
苦労したこと	接木を行うには、子葉や葉が数枚出たくらいで行うことが良いのだが、茎が細く、切れ込みを入れることも、かみ合わせることも難しかった。		

中学生の部 奨励賞

研究作品名 [分野]	豆苗の再生栽培時における AsA の維持 [理科]		
氏名 (共同の場合は グループ名)	さかもと しゅん ----- 坂本 旬		
学校名	岡山県立倉敷天城中学校	学年	3年
動機・目的	近年、がんやストレスを抱えた患者が増加している。がんや風邪に対する抗酸化作用、ストレス抑制の働きがある AsA が豊富に含まれている野菜に豆苗がある。先行研究では、豆苗の再生栽培において AsA 含有量が減少することが報告されており、照射する光の色によって AsA を維持することが可能なのか調べた。		
結果	豆苗の再生栽培時における AsA 含有量維持は、単色光照射の場合は赤色光が、複数の色の光を照射した場合は、赤色光と青色光の両方の光を照射したものが最も優れていた。また、赤・青・緑の3色を同時に照射したものが白のLDE光を照射したものよりも AsA を維持することができた。		
苦労したこと	赤色光と青色光を照射した豆苗の AsA 含有量の差が微量であり、誤差の可能性が考えられた。よって、再現性を確認するため、同様の AsA 測定を複数回行い、豆苗の AsA 測定時における誤差をできる限り減らすことを心がけた。また、栽培時における照度などの栽培条件にも注意した。		

中学生の部 奨励賞

研究作品名 [分野]	ポリフェノールを多く含む食品は 乳酸菌を増殖させないのか [理科]		
氏名 (共同の場合は グループ名)	やまもと めいこ		
	山本 芽生子		
学校名	岡山県立倉敷天城中学校	学年	3年
動機・目的	<p>私はもともと発酵食品が大好きで発酵の過程にも大変興味があった。ある時、ヨーグルトに紅茶やカカオパウダーなどを混ぜたレシピを見て、抗酸化作用や抗菌作用があるポリフェノールと乳酸菌を一緒にしてしまってもいいのだろうか、という疑問を抱き、ポリフェノールによる乳酸菌を増殖への影響を調べた。</p>		
結果	<p>ポリフェノールを多く含む食品は乳酸菌ヤマコシ株の増殖を促進させた。一方で、乳酸菌 LB81 株の増殖を抑制させた。乳酸菌ヤマコシ株はポリフェノールを多く含む食品と同時に摂取すると効果的であるが、乳酸菌 LB81 株はポリフェノールを多く含む食品と同時に摂取すると乳酸菌の増殖を抑制することで避ける方が良いと考えられる。</p>		
苦労したこと	<p>最初に行った実験1の結果は、私が考えた仮説と異なる結果となった。仮説と異なる結果となった原因を考え、実験2を行った。身近なものを使用して実験しようと考えていたが、乳酸菌の種類まで明記してある商品は少なく、実験のサンプルを探すのに苦労した。</p>		

中学生の部 奨励賞

研究作品名 [分野]	鹿北の森を科学的に探ろう！Part3 ～里山・人と自然の共生を探る～ [理科]		
氏名 (共同の場合は グループ名)	鹿北の森探索グループ 太田黒千優・西牟田守生・渡辺敦輝		
学校名	山鹿市立鹿北中学校	学年	3年
動機・目的	1年では、木を伐採しても植林することで森が回復していくのではないかと考え、2年では、自然林や手入れをされた森は、自然が豊かになり海へ養分を届けることができるのではないかと考えた。そこで、今年は鹿北の里山を作っている自然林、人工林、竹林、栗林、茶畑、神社ではどのような自然の生態系を作り出しているのか、土壌動物の観点から調べてみることにした。		
結果	自然林、人工林、栗林、茶畑、竹林、神社は同じ動物の生態系を作り出していることが分かった。神社の周りには木が植えられたり、森になっていたりと、人が自然とともに生活してきた環境があった。よって、鹿北の里山は、人が手入れをして作り出されていく中で、動物にとっても自然に近い生態系を作り出せているのではないかと考えた。人と自然が共に生きてきたことが確かめられた。		
苦労したこと	鹿北の自然診断基準を作るために、たくさんのサンプル数を集める必要があったので、何回も土のサンプリングに行き、その動物の種類と個体数を調べるが大変だった。		

高校生の部

賞	研究作品名	氏名 グループ名	学校	学年
最優秀賞	幼児の吸水ボール誤飲事故の対処法の提案	自然科学部 化学班	岐阜県立岐阜高等学校	2年
優秀賞	簡易的嚥下食レベル測定器の作製	ねばるんず	愛媛県立宇和島東高等学校	3年
優秀賞	お酒やタバコのエフトリ胚への影響の測定	エフトリ班	兵庫県立社高等学校	3年
奨励賞	伊予生糸の品質に関する研究	シルク班	愛媛県立松山南高等学校	3年
奨励賞	ペットボトルフリップと水の動きに関する研究	物理1班	山口県立下関西高等学校	3年
奨励賞	香りを持つクロモシ類の分類学的研究	かおり班	兵庫県立小野高等学校	3年

研究作品名 [分野]	幼児の吸水ボール誤飲事故の対処法の提案 [医療・看護]		
氏名 (共同の場合は グループ名)	自然科学部化学班 小島彩葉・児玉礼華・吉田璃子・平井隆吉郎・本田千智・後藤康希・廣瀬凱乙・柳沼良樹・林黎卓		
学校名	岐阜県立岐阜高等学校	学年	2年
動機・目的	幼児用玩具として発売された、高吸水性ポリマーを主成分とする吸水ボールを幼児が誤飲し、消化器官内で吸水し膨潤したボールがつまり、開腹手術につながった事故を知った。我々は高吸水性ポリマーの吸水特性を研究しており、その知見を応用すれば、消化器官内にあっても膨潤したポリマーを収縮させることができ、開腹手術をせずとも排泄させることができるのではないかと考えた。		
結果	吸水ボールは胃液の下では膨潤が抑えられ、腸液の下では膨潤しやすいことがわかり、誤飲した際には腸内で閉塞しやすいことがわかった。しかし、膨潤した吸水ボールは、幼児期の体重に対する摂取基準以下の2価陽イオンを含むサプリメントの摂取で、収縮できることがわかった。また、誤飲した直後にサプリメントを摂取することで吸水ボールの膨潤を阻害し、腸液の下でも閉塞する大きさ以下に膨潤を抑えることができ、排泄を期待できることが分かった。		
苦労したこと	学校の部活動での研究のため、活動時間に制限があり、長時間にわたる測定では実験の計画を立てるのが大変であった。また、対象者が幼児であり、年齢による対格差が大きいため、それぞれの年齢に合わせた摂取量で実験を行ったため、実験回数が多くなり多くの時間を要した。		

研究作品名 [分野]	簡易的嚥下食レベル測定器の作製 [健康・福祉]		
氏名 (共同の場合は グループ名)	ねばるんず 山本帆湊・清水遥・松本智香・宮崎わかな		
学校名	愛媛県立宇和島東高等学校	学年	3年
動機・目的	自宅において、とろみの程度と粘着力を容易な手順で計測する方法は、未だ確立されていない。病院内に限らず、適切な嚥下食レベルのものを需要に応じて、様々な場所で容易に利用できるようにするため、粘着力の測定基準が統一された測定器を作製することを目的とした。		
結果	実験の結果、アクリルが最も素材として適していることが分かった。今後の展望としては、アクリルを用いて、私たちが考案した、自宅でも簡易的に嚥下食レベルが測定できるような形状のものを作製したいと考えている。		
苦労したこと	とろみ加減の調節が難しかった。とろみをつけすぎると、水分の粘度が増し、咽頭残留を引き起こす可能性がある。本来誤嚥を防ぐためのとろみ剤が、リスクを高めてしまうことが分かった。また、とろみが完全にとけきらないとダマができてしまった。十分な加熱をし、均等に混ぜることで解消した。		

高校生の部 優秀賞

研究作品名 [分野]	お酒やタバコの子ワトリ胚への影響の測定 [医療・看護]		
氏名 (共同の場合は グループ名)	ニワトリ班 亀田真央・井上琴海・壺井奏花・宮崎夢惟		
学校名	兵庫県立社高等学校	学年	3年
動機・目的	私たちは兵庫県立社高等学校の看護医療類型に所属しており赤ちゃんの妊娠や出産に携わる助産師を目指している。お酒やタバコに表記されている注意書きを思い返したことをきっかけに、お酒やタバコがどのように胎児に影響を与えるのかを調査することにした。		
結果	エタノールやニコチンを添加した 2 日目の子ワトリ胚をライブイメージングにより観察すると、胚盤の血管の発達が悪化され、体全体だけでなく脳や目などの各組織の成長速度が低下した。		
苦労したこと	ライブイメージングを行う時の条件やエタノール・ニコチンの濃度の検討などの条件設定を試行錯誤した。また、成長速度を算出するために合計約 100 枚の画像を分析したことが苦労した。		

研究作品名 [分野]	伊予生糸の品質に関する研究 [理科]		
氏名 (共同の場合は グループ名)	シルク班 黒光英太・高本慶・田中俊之介・三崎裕貴		
学校名	愛媛県立松山南高等学校	学年	3年
動機・目的	愛媛県西予市で伊予生糸という生糸が生産されている。この伊予生糸は、一般的な生糸と比べて、独自の品質を持つ。その理由は、石灰質を含む水で繰糸することで生糸を覆うセリシンが溶けだしにくくなるからとされている。そこで、本研究では石灰質とセリシンの溶解度の関係の解明を目的とする。		
結果	炭酸カルシウム溶液の濃度が高いほど、セリシンが溶けにくくなったことから、通説は有力である。また、セリシンが溶けにくくなる原因として、カルシウムイオンが関係していると考えられる。これは、セリシン中のアスパラギン酸にカルシウムイオンが結合するからである。		
苦労したこと	セリシンの溶解度を調べるにあたって、溶媒の温度や濃度等の条件設定に苦戦した。また、1つのデータを取るのに時間がかかったため、まとまった結果ができるまで、長時間を要した。		

高校生の部 奨励賞

研究作品名 [分野]	ペットボトルフリップと水の動きに関する研究 [理科]		
氏名 (共同の場合は グループ名)	物理1班 城山結妃・岡嶋帆・岡村采音・木本瑛一郎・畚野大志・山本京志郎		
学校名	山口県立下関西高等学校	学年	3年
動機・目的	ペットボトルフリップを行い際に、どのようにすれば、高確率で成功するかに興味をもった。先行研究では明らかにされていなかった、成功する具体的な要因を明らかにしたいと思い研究した。		
結果	ペットボトルフリップの成功率には、反発係数、重心、ボトル内での水の動きが関係していた、それぞれが成功率に影響を与える水の体積は異なっていたが 150mL 前後で、安定していることが分かった。		
苦労したこと	ペットボトルフリップを行うときに、人的な要因を極力なくし、実験を再現させることに苦労した。この課題を解決するために、ペットボトルを一定条件で投げることができる装置を作製した。この装置を作製するために時間を要した。		

高校生の部 奨励賞

研究作品名 [分野]	香りを持つクロモジ類の分類学的研究 [理科]		
氏名 (共同の場合は グループ名)	かおり班 上野玲・田中龍之介・繫田遥・西本祐毅・松尾楓		
学校名	兵庫県立小野高等学校	学年	3年
動機・目的	黒も持続のクロモジ類には5種（クロモジ、オオバクロモジ、ケクロモジ、ヒメクロモジ、ウスゲクロモジ）が知られており、分類が図鑑によって異なっている。この樹木には香りがあり、香り成分と分子系統解析の手法で研究し、分類の再検討を行った。なお、5種は兵庫県内にすべて分布している。		
結果	香りの成分の分析と核 ITS 領域の分析の結果、クロモジ、オオバクロモジ、ヒメクロモジの3種とケクロモジ、ウスゲクロモジの2種にまとまることがわかった。		
苦労したこと	5種から枝葉を用いて水蒸気蒸留で芳香蒸留水と精油を作成、芳香蒸留水は紫外可視分光光度計で精油はガスクロマトグラフィ質量分析器で分析した。また、サンプリングのために県内を何度もフィールド調査した。植物の同定も5種は大変似ているので苦労した。		

事業概要

趣 旨	日本の女性医師育成の礎を築いた吉岡彌生の業績を称え、郷土の偉人として、後世に伝え顕彰する。さらに、子どもたちの優れた研究に賞を与え、次代を担う子どもたちの夢と希望、こころざしを育み、世界に貢献する人材を育成する。		
主 催	掛川市、掛川市教育委員会、東京女子医科大学		
後 援	一般社団法人至誠会、東京女子医科大学同窓会至誠会、公益社団法人日本女医会、一般社団法人小笠医師会		
募集内容	医療・看護、健康・福祉、理科、環境等に関する研究、論文、製作物品、実践レポート等を募集する。		
応募資格	小学生の部	中学生の部	高校生の部
	国内の国、公、私立の小学校、特別支援学校に在籍する児童で、募集内容に記載された研究を行った者	国内の国、公、私立の中学校、特別支援学校に在籍する生徒で、募集内容に記載された研究を行った者	国内の国、公、私立の高等学校、特別支援学校に在籍する生徒で、募集内容に記載された研究を行った者
応募方法	<p>作品に応募票を添えて、下記応募先へ送付または持参してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 作品（研究、論文、製作物品、実践レポート、意見主張文等） <ol style="list-style-type: none"> (1) 紙面作品（製作物品以外）の仕様は、A4版、A3版又はB4版を原則とすること。（原則であり、これ以外の仕様でも受け付けます。） (2) 紙面作品は、可能な限りにおいて、「研究の目的」「方法」「結果」「考察」「感想（思い）」の順にまとめること。 (3) 学校名、学年、氏名を記載すること。 (4) 引用文献等がある場合は、出典元を記載すること。 2 応募票 所定の応募票（A4縦型1枚）を作品に添付すること。 ※ チラシ裏面又は掛川市吉岡彌生記念館ホームページ内に掲載 		
募集期間	令和6年8月1日（木）～10月1日（火）		

応募状況

応募総数 100件

(82) 前回

部門		分野					合計	
		医療・看護	健康・福祉	理科	環境	その他		
小学生	市内	3 (3)	1 (0)	11 (12)	1 (4)	0 (2)	16 (21)	29 (26)
	県内	2 (0)	1 (0)	9 (1)	0 (1)	0 (0)	12 (2)	
	県外	0 (0)	0 (0)	1 (2)	0 (1)	0 (0)	1 (3)	
中学生	市内	1 (1)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (1)	34 (18)
	県内	0 (0)	0 (1)	5 (3)	0 (1)	0 (0)	5 (5)	
	県外	0 (1)	4 (0)	21 (10)	1 (1)	0 (0)	26 (12)	
高校生	市内	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	37 (38)
	県内	0 (2)	0 (2)	0 (2)	0 (2)	0 (1)	0 (9)	
	県外	5 (1)	4 (4)	21 (18)	7 (3)	0 (3)	37 (29)	
合計		11 (8)	10 (7)	70 (48)	9 (13)	0 (6)	100 (82)	

※県内とは、掛川市内を除く静岡県内